

第1学年道徳科学習指導案

指導者 T 1 : 岩沖祐梨香

T 2 : 石川 嘉一

単元名 : 裏庭でのできごと

主題名 : 誠実な生き方 (A-1 自主, 自律, 自由と責任)

学年・組 第1学年3組 (男子20名 女子18名 計38名)

場 所 1年3組教室 (本館東側4階)

主題観

誠実に生きるとは、すがすがしい明るい心で、私利私欲を交えずに真心を込めた行動を取りながら生きることである。そして、自分の行動の結果に責任をもつこと、つまりある行為により生じた自分が負うべき義務を良心的に忠実に果たすことも必要である。責任とは、ある人の行為がある事態に対して原因となっているとされる場合、生じた結果に対して応答し、対処することである。したがって、行為者にその行為をする自由があることを前提としている。自由な意志や判断に基づいた行動には責任が求められる。自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもつことが道徳の基本である。したがって、深く考えずに多数派に付和雷同したり、責任を他人に転嫁したりするのではなく、自らの規範意識を高め、自らを律することができなければならない。

本教材「裏庭でのできごと」では、2枚目のガラスを割ってしまった健二が、正直にそのことを先生に言うべきか、それとも大輔の立場が悪くならないようにこのまうまくやり過ぎべきかで揺れる姿が描かれる。しかし、最終的には健二は1人で職員室へ向かうことを選ぶ。悩みながらも他人に流されるのではなく、自分の意思で誠実に生きること考えることに適した教材である。

生徒観

新しい仲間と共に中学校生活をスタートさせ、半年が経過した。中学校生活にも慣れてきて、中学校でのルールを理解して生活しようとしている。部活動や体育大会に向けての練習などの場面において、仲間と協力しながら積極的に取り組んでいる。

その一方で、友達と親しくしたいあまり、周囲を気にしたり、周りにいる友達に合わせて行動したりしてしまうこともある。また、その場の雰囲気に合わせて自分の本意とは違ったことをしてしまうこともあるように見受けられる。そこで本教材を通して、自ら考え、判断し、誠実に行動することの難しさと大切さを考えさせたい。

指導観

仲間とともに協力し、力を合わせて行動することができているが、一方で仲間から離れることを恐れて自分の気持ちを抑えてしまうこともある現状を踏まえ、本教材において、悩みながらも自分がどうあるべきかを考え、決断を下した健二の行動から、他者を気にしたり流されたりするのではなく、自らの判断に基づいて誠実に行動することの大切さを自覚させたい。

また、誠実な生き方をするには、規範意識を高め、道徳的に正しい判断ができるようになることが大切であることにも気づかせたい。

【「資質・能力」育成の手立て】★【知識・技能】は教科学力の育成を指しています。

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・規範意識
	自分の考えについて、根拠も含めて表現できるようにワークシートに記述させる。 それぞれの考えをネームプレートで表現させ、多角的に考える手立てとする。	導入でこれまでの自分を振り返らせ、学習への意欲をもたせる。 終末での振り返りで、本時の学びをこれからの生き方に生かそうとする意識を深めさせる。

本時の学習

(1) 本時の目標

健二の心の揺れについて自分事として考え、最終的に決断した健二の気持ちを考えることを通して、正しいと思うことを自らの判断で実行し、行為の結果に責任をもとうとする意欲を育てる。

(2) 評価

行為の判断基準について、一つの見方ではなく様々な角度から捉えて考えようとしている。誠実に生きることについて考え、これからの自分の生き方に生かそうとしている。

- ・ワークシートへの記述と授業での発言で評価を行う。

(3) 本時の学習展開

	学習活動	主な発問・予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 (5分)	1. 内容項目について考える。	○これまでにまずいなと思いながらそのままにしてしまったことがあるか。 ・友達との約束を守らなかった。 ・うそをついてやりすごしたことがある。 ・ものをなくしてそのままにしてしまった。	・これまでの自分を見つめる。
展開 (40分)	2. 教材の状況について理解する。 3. 健二の「気の重さ」について考える。(生徒にネームプレートを貼らせて意思表示をさせる。) 4. 健二を職員室へ向かわせたものについて考える。 5. 誠実に生きることについて整理する。	・範読を聞く。 ・教材の登場人物やあらすじなどについて確認する。 ○健二の「気の重さ」についてどれくらい共感できるか。 〔4段階のスケールを準備し、「共感できる」から「共感できない」までのどこに位置付くか考えさせる〕 ・友達からどう思われるかを気にする気持ちが分かる。「共感できる」 ・自分はどう行動すべきか悩む。「共感できる」 ・自分なら言いには行かないので共感できない。 ・自分ならしっかり言いに行くので共感できない。 ◎健二を職員室へ向かわせたものは何か。 ・自分の弱さから逃げない心。 ・自分のプライド。 ・うそを許さない気持ち。 ・黒板の記述をもとに、他者に流されるのではなく、自分の真心で行動することの大切さについてまとめる。	・T2が範読し、状況について説明する。 ・そう判断した理由についてもワークシートに記述させる。 ・生徒の考えを交流させて、様々な角度から考えを深めさせる。 ・意見が出にくければ、T2がゆさぶりの声かけをする。
終末 (5分)	6. 今日の学習を振り返る。	○今日の学習を通して考えたことを書こう。	・授業を通しての変化や考えの深まりを自覚させる。